



発行所

関西配管工事業協同組合
〒531-0071
大阪市北区中津1-2-19
新清風ビル7階
TEL(06)6371-5905 FAX(06)6371-9544

編集者

事業部・教育情報部
HP:<http://www.kankan-club.or.jp/>
E-mail:jimu@kankan-club.or.jp

発行日
平成27年8月10日

Vol.62



関 西 配 管 工 事 業 協 同 組 合 機 関 誌

もくじ



● 第19回通常総会開催	2
● 平成27年度事業計画	3
● 組合役員構成	3
● 認定職業訓練講座開講	4
● 3団体懇談会を開催	5
● 4団体協議会を開催	6
● 理事会議事要旨	7
● 大阪管材展へ組合出展	7
● 日管連 第10回定期総会開催	8
● 青年部会活動(セミナー・高校視察ほか)	9
● 建築技能体験フェア開催	10
● 組合員企業の女性技能者が知事表彰	10
● 水道施設歩掛表改定／下請ガイドライン改訂	11
● 新賛助会員／大空衛事務所移転	12

『技能を売る集団』の使命果たす



組合の第19回通常総会は5月21日、大阪市北区の三栄ビル会議室で開催し、技能向上をめざし各種研修・講習事業を拡充するとともに、関連団体との意見・情報をもとに共通の課題を克服していくことを申し合わせました。

総会は小阪武司理事の司会で進められ、立花忠夫理事を議長に選出して議事に入り、平成26年度事業報告・会計報告を行い、27年度の事業計画・予算を決めました。

今年度も引き続き上部団体・日本配管工事業団体連合会と連携して業界の社会的地位の向上を図る

ことを確認し、登録配管基幹技能者や1級配管技能士の資格取得へ向けた各種研修・講習に力を注ぐこととしました。

また、ダクト工事業、保温保冷工事業と共に通する課題が数多くあることから、「関連3団体懇談会」で意見・情報を交換していくことを申し合わせたほか、3団体に工事発注元であるサブコン団体が加わった「関連4団体協議会」でも設備工事業全体で取り組むべき課題について共同で解決の糸口を探っていくこととしました。

任期満了に伴う役員改選では、



立花理事を議長に議案審議



挨拶する玉川理事長

玉川義光理事長、山田誠香・庄司真之両副理事長以下、全役員の留任を決めました。再任された玉川理事長は「業界の大きな課題は技能の伝承である。将来を担う若者に技能を伝承していくため、登録配管基幹技能者と1級配管技能士の育成に一段と力を注ぐ。とくに、配管基幹技能者は現在、全国で2810名となり、国土交通省がその資格の認知普及に本格的に乗り出すという全国3000名にあと一歩となった。引き続き、若者を育成するとともに埋もれた人材の発掘にも取り組み、『技能を売る集団』としての使命を果たしていく」と改めて決意を示しました。

◇平成27年度事業計画◇

(27年4月1日～28年3月31日)

【総務部事業計画】

1. 組合員企業の経営に役立つ事業の計画と実施
 - (1) 経営者及び次世代経営者のための講演会・研修会の実施
2. 組合並びに業界の社会的地位と認知度の向上を図る
 - (1) 日管連の企画実施事業に積極的に参加協力する
 - (2) 設備関係の団体との懇談会などを通じて関係業界との意志疎通を図り、建設業界における当組合、ひいては日管連の地位の確立と向上を図る
3. 組合の発展と財政的基盤の維持向上を図る
 - (1) 組合員（正組合員・賛助会員）の拡充を図るための研究をする
 - (2) 組合財政の収支バランスを見直し健全な運営を図る
4. 組合員相互間の交流と相互理解を促進する
 - (1) 組合員相互の親睦を図るため、新年賀詞交歓会、見学会など全組合員対象の行事を企画実施するとともに、組合員・賛助会員合同懇談会を隨時開催し、情報交換を図る
5. 青年経営者・後継者の拡充強化を図るため、組合青年部会の活動事業を支援する

ため長期的視野のもと研究に努める

4. 「登録配管基幹技能者」の確保・育成・活用の推進と「基幹技能者講習」の開催協力を図る
5. 機関誌「KAN KANくらぶ」の発行と内容充実を図る
6. 組合員相互間における繁忙情報事業の見直しと工事施工協力の活用方法を研究する
7. 第17回管工機材・設備総合展開催に伴う後援と総合展への出展

【青年部会活動計画】

1. 日管連全国青年部会並びに大阪府青年中央会との親睦・交流を図る
2. 毎月1回の例会を開催し、情報交換を図る
3. 工場見学会・勉強会・親睦会の実施
4. 親組合の記念行事・展示会などへの支援・協力
5. 青年部会への新規加入部会員の募集
6. インターネットを活用し、組合事業活動並びに青年部会の活動をよりPRする

組合役員構成

(平成27年度・28年度 敬称略)

- 理 事 長 玉川 義光 (玉川設備環境)
副理事長 山田 誠香 (株)寿工業所
副理事長 庄司 真之 (株)ツカサ
理 事 加藤 猛 (株)ティ・エム・プラント
理 事 和田 吉成 (株)和田設備工業
理 事 中野 広造 (中野設備工業株)
理 事 池成 信夫 (有)信成設備工業
理 事 小阪 武司 (小阪設備工業株)
理 事 立花 忠夫 (株)藤尾設備工業所
監 事 岡崎 照雄 (岡崎産業株)

部 会

- 総 务 部・部会長 庄司 真之
事 業 部・部会長 山田 誠香
教育情報部・部会長 玉川 義光

青年部会

- 部 会 長 朝倉 博昭 (日管連青年部会部会長)
副部会長 中道 孝太郎

【事業部事業計画】

1. 労働保険事務組合認可に伴う事務処理体制の確立と、一人親方労災保険特別加入の充実を図る
2. ヘルメットなどの斡旋業務の見直しと組合取扱資材の増強を図る
3. 「工事作業日報」の充実活用と「配管工事積算工費資料」の改訂版発行を計画する
4. 賛助会員並びに管工機材団体との懇談会の開催を企画し、管工事業界全体の向上を図る

【教育情報部事業計画】

1. 各種の資格取得支援の体制を維持・充実させ、技術研修会を開催し、高度な技能の伝承に努める
2. 認定職業訓練短期課程配管科1級技能士コースの実施並びに技能検定試験事前実技講習を実施する
3. 「配管技能士」の社会的地位と認知度の向上を図る

1級技能士めざし15日間受講

組合の教育情報部会（部会長・玉川義光理事長）が担当している平成27年度認定職業訓練講座（配管科・1級技能士コース、第17期）が4月から9月まで尼崎市武庫豊町の兵庫職業能力開発促進センター（ポリテクセンター兵庫）で行われています。受講生は1級配管技能士の資格取得をめざし熱心にカリキュラムに取り組んでいます。

認定訓練講座は大阪府の認定を受けた短期課程職業訓練です。この認定訓練講座を修了するには全訓練時間の80%以上の出席と最終日の修了試験に合格しなければなりません。修了者には、技能検定国家試験（建築配管作業）における学科試験免除の特典が与えられます。講座は、ポリテクセンター兵庫で4月12日にスタート、9月6日までの日曜日、延べ15日間・120時間（25教科）にわたって続けられます。

今年度は20人の講習生が13人の講師から学んでいます。すでにこれまで流体の基礎理論・熱力学の



基礎や材料各論、施工法、建築配管、製図などの教科講義が行われ、これから施工法の一部、関係法規、安全衛生などの教科が続きます。最終日に全教科の総まとめ（監督・玉川義光教育情報部会長）と修了試験が行われます。

受講者の皆さんには酷暑の中、休日返上で研修に取り組んでいます。受講者の周囲の方々のご理解をたまわりますようお願い申し上げますとともに、これからも認定職業訓練講座の積極的な活用をお願いします。

【講師の先生】(50音順、敬称略)

- ◇大原 明◇鬼武孝一
- ◇金野義弘◇柴田健治

- ◇鈴木香次◇澄川史朗
- ◇瀧口佳典◇玉川義光
- ◇土居世輝雄◇直江 健
- ◇原本昌興◇宮本泰仁
- ◇森 良則

【受講者の皆様】

(社名50音順、敬称略)

- ◇アラキ設備=山添純一
- ◇ウイング=耳野重里、上杉尚大
- ◇エスプラント=宮本 亘、山本識織
- ◇岡崎設備=岡崎誠二
- ◇カワタプラントサービス=河田浩行
- ◇ケイプラマー=藤沢貴雄
- ◇高塚設備=高塚久佳
- ◇谷村工業=小枝義人
- ◇玉川設備環境=金田康男
- ◇ツカサ=松本靖男
- ◇中道設備工業=谷口健吾
- ◇夏山設備=夏山和之
- ◇平田設備=平田裕貴
- ◇フジムラ設備=高木敦司、藤村祐弥
- ◇渕田工業=甲斐睦章、森本 喬
- ◇前村設備=増野直年



第37回 「3団体懇談会」開く

「技能者レベルランク認定制度」で意見・情報交換

当組合と近畿ダクト工事業協同組合（ダクト工事団体、理事長増田岳史氏）、近畿保温保冷工業協会（保温保冷工事団体、会長細見義征氏＝当時）で構成する「3団体懇談会」は3月9日、組合事務局近くの三栄ビル会議室で第37回会合を開き、関東の関連3団体が取り入れている「技能者レベルランク認定制度」について意見・情報交換しました。

「技能者レベルランク認定制度」は、関東ダクト工業会と東京



空調衛生工業会が「ダクト」、関東甲信越保温保冷工業協会と東京空調衛生工業会が「保温保冷」、関東配管工事業協同組合と東京空調衛生工業会が「配管」の各部門を担当して導入しているものです。特A～Nがあり、特Aはレポート提出があります。特Aが基幹技能者、Bが技能士、Nが新人・外国技能者といった技能レベルといわれています。

意見交換の中では、「関西では現行の認定制度と重なり、取り組



当組合出席者

みは難しい」（ダクト）、「制度にメリットがなく、資格取得にも意味がない」（配管）の意見が大勢を締めました。また、「現行の国土

はするけど、資格としての必要性はない」（保温保冷）などの意見が出されました。

また、「社会保険対策」についても意見・情報交換しました。この中では、国交省が進めている社会保険加入促進対策では2019年に未加入者ゼロとしている。標準見積書を作成し提出しているが、何も動いてこないし、進んでいない。前向きな対策で制度をつくらないと、あと2年、このままで終わってしまう。下請に払えない受注金額が問題で、払える金額にしていく必要がある。建設業界では企業上層部は分かっていても現揚所長がどれだけ理解しているのか疑問。モデル価格を作成し工事発注者に具体的な数字で説明する。消費税が別にあるように法定福利費も別にあると認識してもらう。社会保険加入を進めるためには今までと同じことをしてはダメで、効果は不明だが、業界団体で例えば決議文を出すとかの取り組みも必要——などの意見が交わされました。

交通省資格があるから、その資格がない者がレベルアップに使っている」（配管）と制度に疑問をもつ意見も出されました。

このほか、「配管には衛生で国家資格がたくさんあり、その一つひとつに手当を付ければまとまった金額になる」（配管）、「正社員は手当を設けている会社もある。ダクトの取扱専門の者はダクト製作ができない者もいる。特Aのランク付けは必要かもしれないが、Nは必要ではない」（ダクト）、「勉強

4団体協議会を開催

「社保未加入問題」で意見交換

当組合と大阪空気調和衛生工業協会（大空衛、会長太田隆氏）、近畿ダクト工事業協同組合（理事長増田岳史氏）、近畿保温保冷工業協会（会長細見義征氏＝当時）で構成する4団体協議会の第18回会合が3月23日に大空衛事務局会議室（当時）で開かれ、「登録基幹技能者の扱い」、「社会保険未加入問題」などについて意見を交わしました。

配管、ダクト、保温保冷の登録基幹技能者の扱いについては、ゼネコン各社が実施する優良技能者認定制度で大手ゼネコンは〈スーパー職長〉などの認定のさい、登録基幹技能者を条件にしているという現状が報告され、「登録基幹技能者を取得するメリットをもつと拡充していくべき」という認識で一致しました。

社会保険未加入問題では、法定福利費の試算数値として、月額報酬32万円とした場合の法定福利費は約6万5000円で、これは月額報酬の20%に当たることが報告されました。また、扶養家族2名の前提のもと年収600万円で試算すると、法定福利費は約90万円（約15%）となり、年収から法定福利費、所得税、住民税を差し引くと本人の手取り額は約473万円となります。

これらの数値のもと、「労務費率は職種によって異なるが、発注費用に法定福利費相当額が上乗せされていないと雇用主が支払うの

は困難」、「法定福利費の分かりやすい試算資料の作成が必要」などの意見が出されました。また、「日本建設業連合会は会員向けに〈社会保険加入促進要綱〉を決定し、法定福利費を明示した見積書を提出させることで社会保険加入を徹底させるとしている」、「国土

の姿勢は変わっていない。引き続き、民間発注者、ゼネコンに対して法定福利費の上乗せを求める努力が必要である」、「資材高騰、人材の不足、設備投資の増加などの状況から工事費が上がり始めている。この機会に法定福利費を確保することが大事である」との意見



交通省でも法定福利費を明示した見積書の活用をめざすとしている」といった現状が報告されました。

さらに、「国交省が昨年8月、直轄工事で一次下請に社会保険未加入業者を禁止したが、各自治体でも一次下請に社会保険未加入業者を禁止するところが続出している」、「法定福利費の上乗せに向けて徐々にではあるが、環境が整いつつある。ただし、実際に今後の請負工事で、法定福利費が確保されるという流れにはなっていない」、「法定福利費は当然工事費に含まれていると主張するゼネコン

も出ました。

人材育成問題については、「新卒者の入職が少ない。求職してもなかなか応募がない」、「ゼネコンの現場入場に際して高齢者、若手を排除する動きがあるが、人材育成のためには現場での経験を増やすことが大切だ」、「年収600万円は日当では2万円となるが、実際にこの日当は払えていない。賃金が安いことが若手入職者の少ない原因の一つ」、「設備工事業界とはこういうものという、工事そのものをPRする必要があるのではないか」といった意見が寄せられました。

理事会 議事要旨

【27年1月】

- ①組合青年部会の活動状況報告
- ②第15回技術研修会終了報告
- ③平成26年度1級配管技能検定受検対策の実技講習終了報告
- ④第37回三団体懇談会開催に伴う、当組合からの提案事項の検討について
- ⑤新年賀詞交歓会の運営順序の打ち合わせ
- ⑥その他（2月の定例理事会の休会について・株竹中工務店大阪本店との工事施工状況についての意見交換会開催の検討について）

【27年3月】

- ①平成27年新年賀詞交歓会終了報告
- ②平成27年度認定職業訓練配管科1級技能士コース受講申し込み応募状況報告
- ③組合青年部会の会則制定報告
- ④株竹中工務店大阪本店との意見交換会終了報告
- ⑤国土交通省近畿地方整備局主催の「第3回社会保険未加入対策推進近畿地方協議会」出席報告
- ⑥日管連理事会の出席報告
- ⑦組合青年部会で企画推進中の工事施工の繁忙情報化「助け合いネット」の承認について
- ⑧第19回通常総会開催日程と開催場所・方法の検討について
- ⑨平成27年度組合事業計画・予算編成の基本方針検討について
- ⑩その他（「外国人技能実習生制度」説明会の開催検討について）

【27年4月】

- ①平成26年度後期技能検定試験1級配管（建築配管作業）受検結果報告
- ②平成27年度認定職業訓練配管科1級技能士コース受講申込者報告並びにカリキュラム・担当講師の決定報告と開講について
- ③第37回三団体懇談会出席報告
- ④大空衛主催の第18回四団体協議会出席報告について

⑤賛助会員からの組合脱退申し出の件

⑥第17回管工機材・設備総合展への出展申し込み検討について

⑦平成27年度1級配管技能検定受検対策実技講習の実施日程と講習会場について

⑧平成27年度組合事業計画予定表の作成について

⑨平成27年度組合事業計画書（案）並びに収支予算書（案）の策定について

⑩その他（大阪府立北大阪技専校の平成27年度テクノ講座のご案内・一般財団法人あんしん財団からの「使用者賠償責任保険制度」パンフレットの配布）

【27年5月】(1回目)

- ①平成26年度組合事業報告並びに決算報告承認について
- ②第19回通常総会上程議案並びに総会議事運営方法について
- ③「外国人技能実習生制度」現地視察（ベトナム）提案資料内容の検討について
- 玉川理事長・庄司副理事長・池成理事の3名が現地視察に参加することとした（6月13日～16日）
- ④日管連が契約した、一般財団法人あんしん財団「使用者賠償責任保険制度」の説明
- ⑤その他（6月の定例理事会の休会について）

【27年5月】(2回目)

- ①日管連理事会の出席報告
- ②第19回通常総会の運営順序についての打ち合わせ
- ③一般社団法人大阪府建団連雇用推進研究会主催による、第2回建築技能体験フェアについて

【27年5月】(3回目)

- ①代表理事（理事長）選出の件
- ②副理事長選出の件
- ③各部会長及び副部会長並びに各部会の担当理事選出の件

【27年7月】

- ①組合決算関係書類及び役員変更届提出並びに登記事項完了報告

と税務関係書類の提出と納税完了報告

②大空衛事務所移転報告

③大空衛主催・第7回配管技能コンテスト参加申込者の当組合から推薦報告

④平成27年度「登録配管基幹技能者講習」開催日程・会場の決定と近畿地区会場への講師派遣の協力について

⑤一般社団法人大阪府建団連雇用推進研究会主催の「第2回建築技能体験フェア」開催に伴う実施要領報告

⑥「外国人技能実習生制度」のベトナム現地視察報告

⑦新規賛助会員の組合加入申し込み諾否について

⑧平成26年度脱退組合員に対する出資金払い戻しについて

⑨第17回管工機材・設備総合展への出品展示内容と役員当番表の作成について

⑩その他（8月定例理事会の休会・大阪府立北大阪技専校の平成27年度テクノ講座案内）

「大阪管材展」に出席

大阪管工機材商業協同組合主催の「第17回管工機材・設備総合展OSAKA2015」が9月10～12日の3日間、大阪・南港のインテックス大阪4号館で開催されますが、当組合は後援団体として同展をバックアップするとともに、出展して組合の存在や取り組みを幅広くアピールします。

同展は2年に一度開催され、関西管材業界の一大イベントとして注目を集めているものです。

今回は181の企業・団体が出展、308小間で白熱したPR合戦が展開されます。

開催時間は午前10時から午後5時（最終日は午後4時）です。皆さん、お誘いあわせの上、ぜひ参観されますようご案内いたします。

日管連第10回定時総会開催

実践スローガン決議

『LIFE-LINEと環境を守る企業団体』

日本配管工事業団体連合会（日管連、会長當木仁氏）は7月17日、第10回定時総会を宮城県の仙台国際ホテルで開催し、登録配管基幹技能者の活用や社会保険加入促進、青年部会の活動支援など多彩な平成27年度事業計画を決めたほか、今年度実践スローガンとして、「LIFE-LINEと環境を守る企業団体」を決議しました。

今回の総会は東北配管工事業協同組合（理事長米山善人氏＝日管連副会長）が担当組合として開催。各地区組合代表者らに地元東北組合の役員・組合員・賛助会員が加わり、さらに関連団体やサブコン代表者などの来賓を合わせ約90名が参集しました。當木会長が挨拶したあと、同氏を議長に議事に入り、平成26年度事業・決算報告に続き、27年度の事業計画・予算を決定しました。

今年度の事業については、登録配管基幹技能者の育成と活用促進を中心に、国土交通省と各建設関連団体が取り組んでいる社会保険



円内は挨拶する當木会長

加入促進計画の実施、設備工事団体（日本空調衛生工事業協会）、ダクト工事団体、保温保冷工事団体の関連4団体との情報・意見交換、青年部組織への支援などに取り組んでいくこととしました。

また、今年度スローガンとして「未来と大地からのメッセージ『LIFE-LINEと環境』を守る企業団体」を決議。人と建物の快適環境をパイプラインで結ぶ建築設備配管工事業であることの自

覚を持ち、力強く一致団結してスローガンを実践していくことを確認しました。

引き続き、「安全大会」として、東北組合の菅原嘉祐副理事長が東日本大震災に遭遇したときの回顧談を披露しました。



関西組合の出席者（左から山田・庄司・小阪・池成・朝倉の各氏）



次回開催地を代表して歓迎の言葉
を述べる関西組合の玉川理事長



懇親会のもよう

このあと、来賓を交えて懇親会が催され、挨拶に立った當木会長は、昨今の建設需要の拡大に伴う人手不足の中、人材確保の面から人件費の上昇は避けられないこと、各方面に適正利潤の確保を強く訴えていく決意を示しました。さらに、技能継承の重要性を指摘し、「登録配管基幹技能者制度などを活用して優秀な技能者を育成、

品質の向上や施工・経営の合理化に取り組む『自助』の精神でたゆまなく努力していこう」と呼びかけ、「日管連が魅力ある団体として認識されるよう活動していく」と強調しました。

来賓からは、東北組合顧問の熊谷大・参議院議員、藤原のりすけ宮城県議会議員、西澤啓文仙台市議会議長が激励を込めて祝辞を述べました。渡辺昭宮城県管工業協同組合理事長の発声で乾杯した後、和やかに歓談しました。

最後に、次回開催担当となる当組合の玉川義光理事長（日管連副会长）が「来年の日管連総会を大いに歓迎します。組合あげて皆様をお待ちします」と歓迎の挨拶を行い、東北組合・菅原副理事長の閉会の言葉で総会を終えました。

青年部会活動

メンタルヘルスセミナー

組合青年部会（部会長朝倉博昭氏）は2月18日、大阪市北区の三栄ビル会議室で「メンタルヘルスセミナー」を開催しました。

セミナーは大阪府中小企業青年中央会の支援事業を活用し、講師に福西社会保険労務士事務所代表福西綾美氏を招き、経営者向けのメンタルヘルス対策として実施したものでした。

セミナーで福西氏は、昨今、職場でのメンタルヘルス不調者が増加していることについて、統計上の根拠や事例などをあげて解説しました。この中で同氏は、経営者として会社での行動やコミュニケーション能力の低下など社員の異変を察知するポイントとともに、



会社として証拠を残しておくことの重要性を説きました。

参加者からは「該当者に対する病院への誘導の仕方」や「どのよ

うに声をかけたらいいのか」などの質問が出され、その対応が示されました。

布施工科高校を研修視察

組合青年部会は7月9日、大阪府立布施工科高等学校（植田篤司校長）の研修視察と授業参観を実施しました。

同校は70年以上の歴史と伝統があり、卒業生は延べ2万人以上を

出し、ものづくりを中心としてさまざまな分野で活躍しています。現在、機械系、電気系、建築設備系に分かれ、さらに7つの専科から専門分野を選び、将来役立つ資格が取得できるようカリキュラムが組まれています。専門的な技



術・技能の職業教育や将来設計へのキャリア教育も充実しています。

青年部会の視察参加者は同校の小倉一浩指導教諭の案内のと、計画設備実習室（音響実験室）や



設計製図実習室での授業風景を見学しました。同校の進路状況、業種別就職状況、求人票の手続きや最近の求人情報の概要などの説明を受けたあと、設備システム専科を専攻している在校生らとフリートークを開き、在校生らの熱心な質問に真剣

に答えました。

朝倉青年部会長は「挨拶も元気よく、皆さんのお顔を拝見して安心した。工業系の学校を選んだからには卒業までしっかりと技術を習得してほしい。卒業していっしょに働けられたら何より」とエールを送り、植田校長も「生徒一人ひとりの顔が輝いて見える。今後もこのような機会を増やしていくべき」と当組合との一層の連携に期待を寄せました。

「助け合いネット」説明会

組合青年部会は7月8日、15日の2回にわたって三栄ビル会議室で「日管連・助け合いネット」の説明会を開催しました。

同サイトは職人不足・仕事不足の情報を共有する場がなく、機会損失が発生している現状の打開策

として関西組合青年部会が日管連青年部会に提案し、研究が進められているものです。「助け合いネット」は、「応援を依頼したい会社」と「仕事を求める会社」の情報をマッチングさせ、ビジネスチャンスに繋げていく仕組みです。関西地域で試験的に運用し、ある

程度軌道に乗れば全国会員にも活用していく予定となっています。

説明会では運営サイトに携わるエピットの入佐裕之氏からサイトの概要や操作方法が示されました。出席者からは現場からみた意見が出され、今後も改良を重ねながら運営していくことを確認しました。

「建築技能体験フェア」開催

大阪府建団連・雇用推進研究会などが主催する第2回「建築技能体験フェア2015」が7月31日、8月1日の2日間、大阪市鶴見区の花博記念公園（鶴見緑地）の「水の館」で開催され、当組合も出展し、配管施工をアピールしました。

当組合も協賛団体として参画し、組合員の寿工業所、玉川設備環境、信成設備工業などの協力を得て配管職種をアピールしました。会場では「女性技能者の活躍の場を考える」をテーマにしたパネルディスカッションも行われ、当組合からは全国の配管業界でも数少ない女性技能者の宮本祥子さん（玉川設備環境）がパネリストとして参加し、建築設備業界に入るきっかけや現場での体験談をもとに女性技能者の在り方などを語りました。



配管をアピールした設備ブース



パネラーの宮本さん（左から3人目）

「優秀建設施工者」表彰で当組合員の女性技能者が知事表彰受賞

平成26年度の大坂府「優秀建設施工者」表彰式が2月12日に大阪府庁で行われ、11名の技能者が表彰を受け、当組合員からは玉川設備環境の女性技能者・宮本祥子さん（登録配管基幹技能者）が大阪府知事表彰を受賞しました。

表彰式では、受賞者を代表して宮本さんが謝辞に立ち、配管工と



受賞者を代表して謝辞を述べる宮本さんして働きながら配管技能士や登録配管基幹技能者の資格取得に挑戦した当時を振り返りながら受賞の喜びを述べました。

整備費歩掛表を改定

—直接工事費1000万円で— —工事価格約7.5%上昇—

厚生労働省は3月、平成27年度水道施設整備費に係る歩掛表を改定し、都道府県知事及び水道行政担当課に通知しました。4月1日以降の水道施設整備費国庫補助事業及び新たに創設される生活基盤耐震化等交付金事業に係る補助金等を申請する際に適用されていきます。詳細は同省ホームページ(<http://www.mhlw.go.jp>)を参照ください。

今回の改定では、「開削工事及び小口径推進工事」の現場管理费率について上方修正が行われ、さらに、改正品確法の趣旨を踏まえ、国土交通省が昨年度土木工事積算基準改正で一般管理費等率を引き上げたことと連動して、水道歩掛表においても同様の改定が行われました。この改正により、工事価格は増加し、直接工事費が小さい方が工事価格の増加率が高くなり、直接工事費1000万円では工事価格が7.5%前後上昇します。改定のポイントは以下のとおりです。

1. 現場管理费率

現場管理费率標準値については平成25年度に法定福利費率の引き上げを目的とした改定が行われましたが、工種区分「開削工事及び小口径推進工事」について、実態調査の結果から、一部に値の不整合が生じていることから、さらに今年度上方修正により適正化が図られました。対象純工事費が1000万円以下の場合には、現場管理费率は従来の21.70%から25.61%と

なり3.9ポイントの上方修正となり、一定額金範囲に適用する「変数値」も引き上げられました。

2. 一般管理費等率

国土交通省が平成27年度適用として一般管理費等率を改定したことを受けて、水道歩掛表においても同様の改定が実施されました。この改定の趣旨は、公共工事の品質確保の促進に関する法律（品確法）が一部改正され、この基本理念の実現と発注者責務を果たし、担い手の中長期的な育成・確保ができる適正な利潤を確保するために、適切な一般管理費を算出し、適正な予定価格を設定することになります。これにより、平成27年度は、工事原価が500万円以下の場合には、従来の14.38%から20.29%となり、5.9ポイントの上方修正となりました。

3. 工事価格への影響

以上、現場管理费率及び一般管理費等率の改正により、工事価格が増加することになり、直接工事費別の工事価格の増加率の目安は、直接工事費100万円～500万円では工事価格が8.0%前後増加、直接工事費1000万円では工事価格が7.5%前後増加、直接工事費一億円では工事価格が5.1%前後増加することになります。

なお、この増加率は管材料費等により増減します。予定価格の設定においては、水道歩掛表を準用している水道事業者がほとんどであり、適宜改定し設計積算の適正化を図っていくことが重要であるとされています。

下請ガイドライン改訂

法定福利費内訳明示の見積書提出を見積り条件として明示

国土交通省は今年3月、「社会保険の加入に関する下請指導ガイドライン」を改訂しました。改訂のポイントは次のとおりです。

- ◇ ①法定福利費を内訳明示した見積書提出の見積条件への明示
- ②適切な保険に加入した下請企業・労働者のみからなる工事の試行的実施（モデル現場）
- ③情報システムへの関係資料の添付による保険加入情報の記載の真正性の確保
- ④施工体制台帳・再下請負通知書・作業員名簿の正確な記載による雇用と請負の明確化

国土交通省によると、建設産業においては、下請企業を中心に、雇用、医療、年金保険（社会保険）について、法定福利費を適正に負担しない企業（すなわち保険未加入企業）が存在し、技能労働者の医療、年金など、いざというときの公的保障が確保されず、若年入職者減少の一因となっています。また、関係法令を遵守して適正に法定福利費を負担する事業者ほど競争上不利になるという矛盾した状況が生じています。

さらに、下請企業を中心に保険未加入企業が存在している状況を改善していくためには、元請企業において下請企業の保険加入を指導する役割を担うことが求められています。

新入賛助会員(平成27年7月加入)

◇協働サービス(株)

代表者 脇阪 秀幸氏

〒586-0038

河内長野市上原西町5-20

TEL.0721-54-6910

FAX.0721-54-6912

◇小谷機工(株)

代表者 粟井 寛儀氏

〒570-0005

守口市八雲中町3-13-39

TEL.06-6909-1451

FAX.06-6909-1458

務所を下記の住所に移転しました。旧事務所のすぐ近くで、アクセスは大阪市営地下鉄「堺筋本町」駅12番出口から北へ徒歩約3分。

◇新住所

〒541-0052

大阪市中央区安土町1-7-20

新トヤマビル3階

◇電話・FAXは従来どおりです。

大空衛・事務所移転

大阪空気調和衛生工業協会(会長太田隆氏)はこのほど、協会事

AS 株式会社 アウス

スーパートラップ付目皿 ワンタッチ掃兼金具 (スーパー トラップ付き)

蓋は \ominus ドライバー1本で
ワンタッチ取り外し、
装着は軽く押すだけ

D-STD-PU 50・65・75・100mm

D-3CO-STD-PU 50・65・75・100mm

50mm

総発売元 イクイップメントのサポート商社

SHO-A 株式会社 昭栄

本社 〒541-0059 大阪市中央区博労町2-3-1
 \ominus (06)6262-1241 FAX(06)6262-5947

本店営業部 〒577-0815 東大阪市金物町6-10
 \ominus (06)6725-9311 FAX(06)6725-9333

東京 \ominus (042)487-6811 北関東 \ominus (048)458-1234
大阪 \ominus (06)6531-9601 金沢 \ominus (076)291-9011
中国 \ominus (086)246-2611 姫路 \ominus (079)284-4101
四国 \ominus (087)864-7351 松江 \ominus (0852)26-1124
福岡 \ominus (092)928-5001 北九州 \ominus (093)951-7021
千葉 \ominus (043)258-3811 大分 \ominus (097)555-9840
神奈川 \ominus (046)278-2322 鹿児島 \ominus (0995)62-3301
山梨 \ominus (055)279-5711

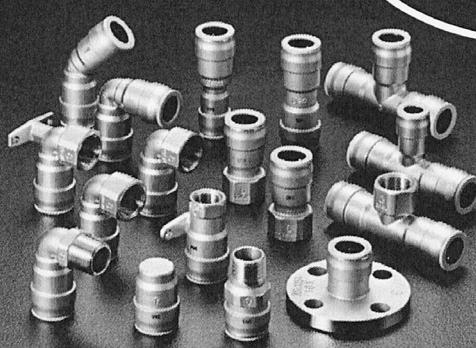
印管継手

給水・給湯・冷温水に!! 2つのSUS管用継手登場!

ワンタッチ式

SUSDAKE(サスダケ)

新製品!



拡管式メカ継手

ZLOK

(ゼットロック)

・印管継手

・管端防食管継手 PQWK

・日立カップリング継手 オメガシリーズ

・日立密閉型膨張タンクシリーズ

・ウォーターハンマ防止器

日立金属株式会社

関西支店

〒541-0041

大阪市中央区北浜3-5-29(日生淀屋橋ビル)

TEL:06-6203-9704 FAX:06-6202-0730

<http://www.hitachi-metals.co.jp>

HITACHI